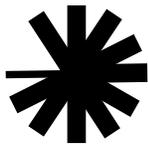


2018
3月号



原水協通信

国連NGO原水爆禁止日本協議会

毎月1回6日発行

頒価 220円

電話 (03)5842-6031

FAX (03)5842-6033

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-2-4



原水爆禁止大阪府協議会 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 tel(06)6765-2552 fax(06)6765-2837

国連が採択した

核兵器禁止条約を力に

核兵器のない世界、非核平和の日本の実現を

原水爆禁止運動の原点 被災64年3・1ビキニデー集会成功

昨年7月7日に採択された核兵器禁止条約後、初めて迎えるビキニデーです。世界・全国から1800人のピースメツセンジャーが原水爆禁止運動の原点の地に集まりました。大阪からは44名が集会成功に力を発揮しました。

昨年7月7日に「核兵器禁止条約」が採択されてから初めて迎えるビキニデー集会は、これまででない盛り上がりを見せ、登壇した多くの方がその感動を述べていました。日本被団協の和田征子さんは「核兵器禁止条約が採択されたことは、重く錆び付いた扉が開き、そこから光が差し込むように思う。核兵器廃絶という世界共通の願いが実現されるためには、禁止条約が

発効されなくてはならない。ヒバクシャ国際署名を広げて、廃絶への扉を更に開こう」と挨拶のなかで述べ、核兵器のない平和な世界を求める市民の声が世界を動かす時代になっていることを感じました。一方で、北朝鮮の核開発問題、米トランプ大統領によるNPR（核態勢見直し）などこの間の国際情勢の危機感についても市民が立ち向かわなくてはならないことを強調する発言も多くありました。米・比・韓の海外代表からは「戦争を煽る国家のプロパガンダに対して、平和を求める市民は真実を広く知らせることで抵抗しなければならぬ」とPost-truth（脱真実）に対抗する役割の重要性について述べました。今、日本でも安倍政権の下で真実が捻じ曲げられた政治がおこなわれていますが、日本に住む私たちは真実を武器にして平和を守っていく必要があると感じました。

今回のビキニデー集会では、高齢となった被爆者から若い世代が反核・平和運動を引き継いでいくことが喫緊の課題として挙げられていましたが、実際に見聞きし、考え、実践することで、青年は成長し、活動も大きくなっていくように思います。夏の原水爆禁止世界大会、来年の3・1ビキニデーには沢山の青年と一緒に参加したいと思いました。（大阪平和委員会事務局員 山本 樹）

被爆体験を話される寝屋川の被爆者 松山五郎さん



▲元気もらった被災64年2018年3・1ビキニデー集会（焼津）

大阪から参加した青年の多くは初めてのビキニ集会でしたが、帰りのバスの中で「知らないことだらけで、学ばなければならぬ」と思った。「ビキニ事件の被災者に対して、国が何もしない。基本的人権を蔑ろにした政治が続けられていることがおかしい」「一筆の署名の力について学んだ、大阪に帰って来たらどんな集めて行きたい」などの



日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求めるため、府下自治体の賛同を！

- ◇堺市◇岸和田市◇高石市◇泉大津◇和泉市◇泉佐野市◇貝塚市
- ◇泉南市◇阪南市◇富田林市◇箕面市◇豊中市◇高槻市◇摂津市
- ◇八尾市◇藤井寺市◇河南町◇忠岡町◇島本町◇千早赤阪村

※平和首長会議(日本国内1717都市、大阪府内は全自治体が加盟しています)

ヒバクシャ国際署名（2月28日現在）

29万6301筆

とりくみの結集をよろしくお願ひし



運動の渦中に、病魔におかされ、2016年1月に死去されました。毎年、原水爆禁止世界大会や3・1ビキニデーの集會に参加され、青年達に平和運動参加を呼びかけていました。

ガンバッテいます ～堺からのレポート

2013年、堺平和委員会が再建總會が開かれました。その再建の中心メンバーであり、国民平和大行進通し行進者として活躍した田中薫事務局長は、戦争法案を廃案に追い込む

「国民は、「急いで憲法を変える必要はない」と思っていること、「自衛隊の活動範囲をひろげてほしくない」と思っていることなどを訴えました。今後は、昨年から企画してきた平和ツアーや沖繩をとりあげた映画上映会を成功させたい思っています。」

(堺平和委員会会長 片山直規)

できることがあれば
協力します

2月6日、大阪原水協の事務所に署名用紙を持参された庄司さん、「去年の12月18日のヒバクシャ国際署名推進・大阪の会」の新聞記事を見て参加しました。レポートを知らないことを学んだので、できることがあれば協力します」と申し出ていただきました。

(事務局、元気をいただきました)

今年のビキニデーに参加して

ようやくの初参加でしたが、学びも多く、何より普段交流できない団体の方々の時間がよかったです。若い方には元気いただきました。被爆者の方々と来年も元気に再会したいです。ビキニ事件の分科会で静岡・焼津の第五福竜丸のビキニ事件が、なぜ高知での裁判になるのかの疑問が解きました。またマーシャル諸島からのブルック・タカラさんの訴えも具体的でした。翌朝の久保山さんの墓前行進での混雑は想像以上でした。初めての者には、「原水協」ののぼりがとても助かりました。雨が降らなくて良かったです。(新婦人高槻 松本千峰さん)

2017年の核兵器禁止条約採択やノーベル平和賞など歴史的な出来事の後だったのでワクワクしながら参加。3・1ビキニデーの素晴らしいさを再認識させられました。「被爆者とともに」の分科会では、被爆者の方々の発言、心に残りました。「私は被爆者」と言えるまで9年の月日を思うと胸が苦しくなります。バス車中では、たくさんの方の参加で盛り上がり楽しかったです。参加者のみなさんの報告、とても勉強になりました。またクイズ、自己紹介、ハーモニカ&漫才など内容豊富で楽しかったです。ありがとうございます！(天王寺平和委員会 吉田一江さん)

当面のとりくみ 3月～4月上旬

なくせ！原発 再稼働はんたい！
3・10おおさか大集会—2018福島原発事故から7年—
日時 3月10日(土) 9:30～16:00
(集会終了後、市役所前までパレード)
第1部(午前中)(エルおおさか 7階会議室708)
◇自然エネルギー推進交流会 → → → → → → →
第2部(午後13:30～16:00)(エルおおさか2階エルシアター)
◇メイン講演
「福島のいまと原発住民運動の課題～原発住民運動の歴史にもふれて～」
講師：原発問題住民運動全国連絡センター筆頭代表委員 伊東達也氏
【主催：原発ゼロの会・大阪】

「震災復興、核兵器なくそう、原発ゼロ！第7回アートフェア」
日時 4月4日(水)～6日(金)
場所 中之島公会堂
【大阪革新懇・大阪美術家革新懇・大阪原水協】共催

ヒバクシャ国際署名推進・大阪の会主催
「講演と交流のつどい ICAN 川崎哲さん語る」
日時 4月16日 18:30～
場所 エルおおさか南館ホール(地下鉄谷町線 天満橋駅5分)
講演 川崎 哲氏(ICAN)

自然エネルギーを体感しよう♪

手作りソーラーカー工作教室

日時: 3月10日(土) 10時～12時
場所: エルおおさか本館7階 709号室
対象: 小学4～6年生【先着30組】
※保護者同伴でお願いします。

内容:
● 自然エネルギーや温暖化のお話
● 作り方の説明
● 工作
● 走行テスト
● 授業のまとめ

費用: 材料費(ソーラーカー1台) 申し込み
持ち物: 原発ゼロの会へ